

令和3（2021）年度クリーニング師試験

試験問題【学科試験】

- 1 問題数は、「衛生法規に関する知識」10問、「公衆衛生に関する知識」10問、「洗たく物の処理に関する知識」10問の計30問です。
- 2 法令等においては、「洗濯」と「洗たく」が混在していますが、本試験では「洗たく」に統一して記載しています。
- 3 各問ともア～ウの3つの中から正解を1つ選び、解答用紙の該当する記号を○で囲んでください。

(例)

学科試験問題

- 1 次のうち、栃木県の県庁所在地はどれか。

ア 日光市

イ 宇都宮市

ウ 栃木市

解答用紙

1 ア イ ウ

※ 2つ以上の記号を○で囲んだ場合、得点にはなりません。

栃 木 県

衛生法規に関する知識

- 1 次のクリーニング業法第1条（目的）に関する記述で、（ ）に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

この法律は、クリーニング業に対して、（ A ）の見地から必要な（ B ）を行い、もつてその経営を公共の福祉に適合させるとともに、利用者の（ C ）を図ることを目的とする。

A	B	C
ア 環境衛生等	規制その他の措置	利便性の向上
イ 公衆衛生等	指導及び取締り	利益の擁護
ウ 生活衛生等	監視及び指導	安全の確保

- 2 次のクリーニング業法第2条（定義）に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ア 「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- イ 「営業者」とは、クリーニング業を営む者をいい、洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業とする者は含まれない。
- ウ 「クリーニング所」とは、洗たく物の処理を行う営業者の施設のみをいう。

- 3 次のクリーニング業法第3条（営業者の衛生措置等）に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機を2台、脱水機を1台備えなければならない。
- イ 洗場については、床が、不浸透性材料で築造され、適当な勾配と排水口が設けられていなければならない。
- ウ 指定洗たく物を洗たくするときは、洗たくが消毒の効果を有する方法によってなされる場合を除き、洗たくする前に消毒しなければならない。

- 4 次の苦情の申出先の明示に関する記述で、() に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

クリーニング所においては、苦情の申出先となる(A)及び電話番号を(B)しておくとともに、洗たく物の(C)をしようとする際に、これらの事項を記載した書面を配布する。

	A	B	C
ア	クリーニング所の名称、所在地	店頭に掲示	受取及び引渡し
イ	クリーニング師の氏名	預り証に記載	引渡し
ウ	営業者の氏名、所在地	HPに掲載	受取

- 5 次のクリーニング師の設置に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ア クリーニング業を営もうとする営業者は、クリーニング師でなければならない。
- イ 洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所には、クリーニング師を置かなくてもよい。
- ウ 規模の大きいクリーニング所においては、作業部門ごとに1人ずつのクリーニング師を置かなければならない。

- 6 次のクリーニング業法第5条(営業者の届出)に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- ア クリーニング所の営業を廃止したときは、営業者は、厚生労働省令の定めるところにより、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- イ クリーニング所を開業しようとする者は、都道府県条例の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- ウ クリーニング所を開業しないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、クリーニング業法の定めるところにより、営業方法、従事者数その他必要な事項を営業開始後30日以内に都道府県知事に届け出なければならない。

7 次のクリーニング師の免許に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア クリーニング師の免許を受けようとする者は、居住地の都道府県知事に申請しなければならない。

イ クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。

ウ 免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、適切に廃棄しなければならない。

8 次の営業者の地位の承継に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア 営業者が法人の場合には、法人の合併があった場合のみ、当該営業者の地位を承継することができる。

イ 営業者が個人の場合、相続により営業を継続するためには、相続人が相続を受けるクリーニング所に相続前から従事していなければならない。

ウ 営業者の地位を承継した者は、遅滞なく、その事実を証する書面を添えて、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

9 次のクリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

ア クリーニング業法に規定する研修を受けたクリーニング師は、同法に規定する業務従事者講習を受けたものとみなされる。

イ 営業者は、クリーニング所において専ら経理等の事務的業務に従事する者に対しては、研修及び講習を受講させる義務はない。

ウ 無店舗取次店の営業者は、営業開始の日から3年以内に、無店舗取次店のクリーニング業務に関する衛生管理を行う者として、その従事者の中から1名選び、その者に対しクリーニング業法に規定する講習を受けさせるものとする。

10 次の標準営業約款制度（Sマーク制度）に関する記述のうち、正しいものはどれか。



ア Sマークの表示がされている店は、技術水準や事故の場合の補償制度などを完備した旨の登録を行っている。

イ 全国生活衛生営業指導センターが厚生労働大臣の認可を受けて、クリーニング業を含む14業種について営業方法又は取引条件等を設定している。

ウ Sマークは、Safety（安全）・Sanitation（清潔）・Sustainability（持続可能性）の頭文字をとったものである。

公衆衛生に関する知識

- 1 次の世界保健機関（WHO）憲章における「健康」の定義について述べた記述で、（ ）に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

健康とは、肉体的、精神的及び（ A ）に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は（ B ）ないということではない。及ぶ限り最高の健康水準を享受することは、人種、（ C ）、政治的信条、経済状態のいかんを問わず、すべての人間の基本的権利である。

	A	B	C
ア	文化的	障害が	性別
イ	社会的	虚弱で	宗教
ウ	経済的	貧困で	国籍

- 2 次のセレウス菌に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア セレウス菌は、環境中に広く存在し、食中毒の原因菌となる場合がある。
- イ セレウス菌は、発症した人の咳などの飛沫により感染する。
- ウ セレウス菌が形成する芽胞は、熱やアルコールに抵抗性を示す。

- 3 次の感染症のうち、蚊を介して感染するものはどれか。

- ア デング熱
- イ 結核
- ウ エイズ（後天性免疫不全症候群）

- 4 次のインフルエンザに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア 主な症状としては、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛などがある。
- イ 感染力が強く、マスクや咳エチケットなど飛沫感染対策が重要である。
- ウ 湿度が高くなると、のどの粘膜の防御機能が低下し、感染しやすくなる。

5 次のクリーニング店における感染症対策に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

ア 洗たく物は、吐物や糞便が付着していなければ微生物汚染はない。

イ 営業者は、感染症が流行している時期には、少しでも罹患の疑いのある従業員に対して、自ら進んで健康状態を申告することを徹底し、医療機関での受診を勧める。

ウ 多くの微生物は湿度の高い環境で増殖しやすいため、洗たく物は乾燥状態で保管すべきである。

6 次の洗たく方法に関する記述のうち、指定洗たく物に対する一般的な消毒方法として、正しいものの組合せはどれか。

A 80℃以上の熱湯に10分間以上浸すこと。

B 逆性石ケン液を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で30分間以上浸すこと。

C 次亜塩素酸ナトリウムを使用し、その遊離塩素250ppm以上の水溶液中に30℃以上で5分間以上浸すこと（この場合終末遊離塩素が100ppmを下らないこと。）

ア Aのみ

イ BとCのみ

ウ AとBとC

7 次のクリーニング所における従業員の管理に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

A 従業員は感染症に罹患した客と接触する、又は感染性の分泌物が付着した洗たく物に触れることにより感染症に罹患するリスクを伴うため、常に公衆衛生を意識した営業が求められる。

B 営業者は、従業員がジフテリアの患者又はその疑いのある者である場合は、従業員本人が感染していないことが判明するまでは、作業に従事させないこと。

C 従業員が感染性の胃腸炎にかかったときは、営業者はこの旨を保健所に届け出なければならない。

ア Aのみ

イ AとBのみ

ウ AとBとC

8 次のクリーニング用有機溶剤に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア テトラクロロエチレンは、引火性があり、消防法の危険物に分類される。

イ 日本国内で使用されているドライクリーニング溶剤は、テトラクロロエチレン（パーク）の比率が圧倒的に高い。

ウ 石油系溶剤は、洗たく物に残留すると化学やけどを発生するおそれがある。

9 次のP R T R制度（化学物質排出移動量届出制度）に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア P R T R制度は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく環境汚染物の排出移動登録制度のことである。

イ 事業者として常用雇用者数21人以上で第1種指定化学物質の年間取扱量が1トン以上であるクリーニング所は、年1回、都道府県知事を経由して厚生労働大臣に届け出ることとなっている。

ウ 届け出する内容は、環境中に排出した第1種指定化学物質の量と、事業所で使用した量である。

10 次の洗たく物のうち、指定洗たく物に該当するものとして、正しい組合せはどれか。

- | |
|-----------------------|
| A ホテルで宿泊者が使用した浴衣 |
| B 病院において療養のために使用された寝具 |
| C 手ぬぐい、タオル |

ア AとBのみ

イ AとCのみ

ウ BとCのみ

洗たく物の処理に関する知識

1 次の繊維素材に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア 繊維は天然繊維と合成繊維に大別される。

イ 綿はセルロースが主成分であり、衣料品の素材として幅広く使われる。

ウ アンゴラはアンゴラ山羊からとれた毛で、手触りがソフトで柔らかい。

2 次の素材等に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

ア 人工毛皮のうちアクリル系繊維を使用した製品は、蒸気は絶対あててはならない。

イ 接着剤を用いた接着布は、ドライクリーニング溶剤を使うと、はく離することがある。

ウ ストレッチ素材に用いられるポリウレタンのドライクリーニングはテトラクロロエチレン（パーク）で行う。

3 次の染色の形式に関する記述で、() に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

染料を溶かした水の中に染める物を浸して全体に着色することを (A) とい
い、織物やニットの布地の状態で染色することを (B) という。着色は染料ま
たは顔料が用いられるが、ほとんどは (C) が使われる。

	A	B	C
ア	捺染	糸染め	染料
イ	捺染	反染め	顔料
ウ	浸染	反染め	染料

4 次のボタンに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

ア アクリルボタンはワンピースやブラウスなど広範囲に使われるが、シミ抜き剤で劣化する場合がある。

イ ポリボタンはパール光沢や天然調でワイシャツなど広範囲に使われ、耐薬品性は強い方である。

ウ ナイロンボタンは強度があり割れにくく、耐熱性に優れている。

5 次の汚れの種類とその例示の組合せのうち、正しいものはどれか。

ア 油性汚れ — 口紅
不溶性汚れ — 墨汁

イ 水溶性汚れ — デンプン
不溶性汚れ — サビ

ウ 水溶性汚れ — 果汁
特殊な汚れ — カビ

6 次の J I S L 0001 によるアイロン処理のための表示記号と繊維の組合せのうち、正しいものはどれか。

ア  — 毛

イ  — アクリル

ウ  — ポリウレタン

7 次の和服のクリーニング方法に関する記述に当てはまるものはどれか。

着物全体を溶剤に浸漬せずに、襟、袖口、身頃などの一部の汚れを部分的に洗浄して除去する方法である。溶剤はベンジンや石油系溶剤を用い、乾燥は自然乾燥をする。

ア 生洗い (いきあらい)

イ 丸洗い

ウ 洗い張り

8 次のドライクリーニングに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

ア ドライ仕上げの最適な蒸気圧は、0.5MPa（5 kgf/cm²）である。

イ チャージシステムでは、ソープが規定濃度であれば、繰り返し使用しても安定した洗浄力が期待できる。

ウ 洗濯物からドライ溶剤を取り除く「脱液」と「乾燥」の工程では、脱液が強ければ、乾燥効率が良くなる。

9 次の皮革のクリーニングに関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア 染色堅ろう度が弱く、クリーニングで脱色しやすい。

イ 水洗い方法も開発され利用されており、ドライ溶剤での処理より収縮などが起きにくい。

ウ 仕上げは人体プレス機を使い、60～70℃で蒸気を多めにして短時間処理をする。

10 次の J I S L 0001 による漂白処理のための表示記号について、正しい説明はどれか。



ア 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。

イ 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。

ウ 塩素系漂白剤による漂白処理ができるが、酸素系漂白剤による漂白処理はできない。